

ニ 祝成人 ニ



金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行・編集 責任者：

般若慎一郎

新年のご挨拶 金屋町まちづくり協議会副会長 棚田義宏

明けましておめでとうございます。今年も金屋町の皆様にとって良い年でありますよう祈念します。

さて、昨年1月に千保川対岸に観光バス専用の観光駐車場がオープンしました。情報が不徹底なのか、まだまだ活用されているとはいえない状況ですが、今後の交流人口増に期待です。11月には金屋町元気プロジェクトと合同で、先進地視察研修に長浜市へ行ってきました。元気プロジェクトでは旧夏野家を居住体験施設に改修すべく、取得・伝建認定・基本設計などを終え、来年度着工に向けて進んでいます。12月には仮称・鋳物師町工場の整備方針について住民説明会が開催され、建設に向け着実に前進しています。

住み良い金屋町づくりに向けて、今年も皆様とともに進めていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。



篠山市自治会長会が 視察研修に来町



篠山の町なみ

11月16日、篠山市から自治会長さん達16名が視察研修で金屋町を訪れました。篠山は篠山城を核とした城下町として、平成24年に金屋町と同時に国の重伝建地区に選定されています。更に昨年、これも高岡市と同時に「丹波篠山デカンショ節」のタイトルで日本遺産に選定されています。篠山城は徳川家康が大阪の豊臣氏と西国諸大名のおさえとして、天下普請で作らせたものですが、何と作られたのが1609年で高岡城と同じです。その後日本100名城に選ばれたり、国の史跡に指定されているのも高岡城と同じです。

篠山市では古民家をホテルやレストランなどに活用して地域活性化に取り組んでおり、成功

事例として菅官房長官が11月12日に視察に行ったりもしています。

約1時間ほどで、金屋町のまちづくり協議会と元気プロジェクトの活動について説明と意見交換を行い、その後町なみと鋳物資料館を案内しました。

市民おもてなし講座 高岡の日本遺産を考えよう

12月15日 首題のセミナーがあり、直木賞作家 中村彰彦さんと、(株)日本旅行 飯田慎一さんの講演を聞いてきました。

特に観光企画の専門家である飯田さんの話には、なるほどそうだなと気づくところが多々ありました。



展示室に入る御車山

例えば料理を出すときに、ただ出すのではなく「富山産の〇〇です」の言葉を添えて出して欲しい。高岡の御車山の説明をする時に「前田利家が豊臣秀吉から頂いたのが始まりです」と、誰もが知っている人物に結び付けて欲しい。金屋町は千保川沿いで城の対岸に立地しているが、防火対策や物資運搬など背景にある情報をつけて説明して欲しい。御車山会館では展示する御車山を4ヶ月ごとに入れ替えているそうだが、入れ替え予定日を予め告知し、山の組み立てや分解など滅多に見られない舞台裏を観光客に見せたらどうか。日本語のパンフレットを翻訳しただけの外国語パンフは役に立たない、外人が外人のために作ったパンフでなければいけない。

要はモノであれ情報であれ、必ずストーリーが絡んでいるはずであり、興味と理解を得るにはそのストーリーをつけて説明することが重要ということですね。

市長と語るうステップアップトーク



西条公民館

11月27日に西条公民館で首題の会合があり、金屋町から10数名が参加しました。高橋市長から「市民創造都市（文化創造都市と同意）に向けて」と題して、新たな総合計画・これまでの取り組みと成果・平成29年から38年までの基本構想について説明があり、その後約30分間 住民との意見交換がありました。

簡単に言うと、すべての市民がそれぞれの能力を活かして創造的な活動を展開し、そのまちの中で次代を担う創造性豊かな市民が育つという好循環にあるまちを、市民創造都市として高岡の将来像と構想し、そこへ向かって強みを活かし課題を克服し、共創・再発見・発信の手法でまちづくりをしようというようなことでした。

伝える力～感動をあなたへ 高田明さん講演会

高岡商工会議所青年部の企画で、テレビショッピングで名を馳せたジャパネットたかたの前社長 高田明さんの講演を聞く機会がありました。

伝えたつもりになっていないか？伝えなければ無いのと同じ。情熱を持って伝え、いかがでしょうか？と、相手に自分の主張を考えさせる間をとる事が必要。そして言葉以上に表情・身振り・手振りなど非言語表現が大切。メーカーの常識と消費者の常識は違う、相手の利点を考えて、モノではなくモノによって得られる価値を販売する。

未来を悩まず今を頑張る、その積み重ねでシンプルに今を生きる。継続は力なり、覚悟と情熱を持って一段ずつ階段を登ることが重要。

多くの問題を抱えていても、そのうち主要な1～2の問題を解決すれば大方が解決できる。

69才になるが、あと50年生きるという気持ちがあれば百歳まで生きられる。百歳でも老後ではない、情熱が無くなった時に年をとる。

コーチング、プラス思考、顧客満足、マーケティング、戦略思考などの要素が言葉のあちこちに感じられ、現役時代を思い出させられました。



高田明さん

鋳物師町工房～住民説明会

12月17日、金屋東町の火災跡地に建設予定の仮称・鋳物師町工房について、市の住民向け説明会がありました。金屋町の新たな観光拠点として期待されるそうです。

11月の金屋町自治会拡大会議要点

・市長と語る会と日程重複のため休会しました。